

社会教育委員 だより



▲第1回臨時会を8月29日に高遠町歴史博物館で行い、燈籠祭りの山車を見学しました。

TOPIX

- 平成29年4月26日 第1回定例会（伊那市役所）を開催しました。
（会議後、社会教育委員発！我がまちいいところ10選研修視察2か所）
- 平成29年6月21日 長野県社会教育委員連絡協議会総会（長野県総合教育センター）に参加しました。
- 平成29年7月6日 諏訪・上伊那地区社会教育委員連絡協議会合同研修会（辰野町町民会館）に参加しました。
- 平成29年8月29日 第1回臨時会（高遠町歴史博物館）を開催しました。
（会議後、社会教育委員発！我がまちいいところ10選研修視察2か所、中村家住宅）
- 平成29年9月21日 長野県社会教育研究大会（長野県総合教育センター）に参加しました。
- 平成29年11月10日 上伊那社会教育関係者懇談会（伊那公民館）に参加しました。
- 平成29年11月28日 第2回臨時会、伊那市教育委員との懇談会（伊那公民館）を開催しました。
- 平成30年2月7日 上伊那地区社会教育委員研修会（駒ヶ根市文化会館）に参加しました。
- 平成30年2月18日 宮田村社会教育委員との懇談会（伊那市創造館）を行いました。



生涯学習関係イベント等参加報告

社会教育委員の取組の1つ、現場へ「足」を運ぶ活動として、生涯学習関係イベントへ参加して、感想や良かった点、問題点や課題等を報告書にまとめ、社会教育委員会議で発表し、委員間での意識共有を図っています。第3回の会議までに110件以上の参加報告がありました。

いくつかご紹介します。



○伊那市と葦崎市との文化交流会

玉串奉奠、献茶、献吟等の神事後、綻びはじめた三の丸にて文化交流会。葦崎の伝統芸能の方々の大正琴、踊り、伊那市の伝承会による孤軍高遠城の舞踊、葦崎の方々も輪になり伊那節の披露となった。お互いの伝統芸能が交換できた。

○中尾歌舞伎応援イベント

歌舞伎自体は、別会場にて何度も鑑賞していたが、中尾座に行ったのは初めてであった。とても素晴らしい建物で、地域や歌舞伎を愛している方の力を感じた。活動休止との報道に驚いたが、すぐに今回のような応援イベントが催されたことは、まず支援の第一歩だと思う。中尾歌舞伎の存続に対して検討を続けてほしい。

○第23回進徳館の日

基調講演と高遠の子どもたちによる吹奏楽・合唱・「孤軍高遠城」の舞踊を見て、高遠の学や文化、伝統芸能がしっかりと受け継がれていることを知り、心強い気持ちになった。記念講演についても内藤家の当時を知ることができる貴重な史料の紹介等々であり、大変興味深かった。

○かがやけ大運動会

好天に恵まれ、力いっぱい走る姿や与地の伊那節踊り、竹引き、騎馬戦、棒倒しなど競う姿を拝見できた。1年生はまだ入学から2か月なのにと子どもも落ち着いて一生懸命さが良かった。

○通学合宿

高学年の小学生が親元を離れて、食事の用意から片付け、入浴、宿題など班ごとに共同生活を協力して取り組んでいた。慣れない作業もだんだんと手際よくできるようになり、役割分担をしている様子もうかがえた。多くのボランティアの方の力をお借りしての企画で大変感謝している。

○狐島区民キャンプ飯ごう炊さん

総勢130名超の一大行事だが、事故もなく無事開催された。林や川のある大自然の中で、必要なものを調達して、昼食を作り、今までにない体験が出来た。家族での野外活動が難しい家庭を含め、普段の生活ではなかなか体験できないことを体験できたことはとても貴重な経験であった。

○長谷の縁側

お花屋さんや駄菓子屋さんなどたくさんの催しがあった。保育園、小学生、地域の方々とは幅広い年代で楽しいひと時を過ごした。夏休みということもあり、多くの子どもが参加してくれて、参加者のほとんどが「来てよかった」という感想を持った。

○親子ますつかみ大会

毎年恒例の青少年育成事業。小学2年生とその親子が、夏休み最後に交流会形式で楽しいひと時を過ごした。昨年よりもにぎやかな様子で、テントの下で親子楽しそうに焼いたますを食べている様子が印象的であった。

○「小屋敷の自然と文化を見て歩こう」

小屋敷集落を見下す山のへりを、猪予防の電気策に沿って、サルノ檻、岩の沢放水路、山神社、熊ノ檻、板沢水道へと歩き、説明を聞いた。素晴らしい景色と野生動物との折り合いのむずかしさ、さすが「西春近の秘境」と納得した。集落におり、分教場跡、会所、井上井月と交流のあった三沢家、井月句碑を見て回る。先人たちの教育への熱意、文化を感じた。

我がまちのいいとこ 10 選研修視察

深く掘り下げて見る「目」を持つ活動として、各委員が地元の自然、歴史、文化など見てもらいたい場所を推薦し、現地へ視察に行っています。

見慣れた景色や建物が、解説を聞きあらためて伊那市の歴史や文化を感じ、学習する機会となっています。

○史跡「蓮台場」(八勇士の墓)



戦国時代、武田信玄の侵略に対し立ち上がった8人の上伊那の城主が、処刑場となったここ蓮台場に眠っています。※蓮台場は胴塚、八人塚は首塚です。(伊那市狐島)

○仲仙寺



高僧慈覚大師が比叡山で見た夢の中で「信濃の国の大神護山へ登り観音様の像を造り奉れ」と告げられ、彫った十一面の救世観音を本尊として祀り建立されたのがここ仲仙寺です。馬のお寺としても有名で、馬は自らぶつかることがない、ということから、交通安全のご利益があると言われています。(伊那市西箕輪羽広)

○建福寺



高遠藩主であった武田勝頼、次期藩主保科氏の菩提寺として崇敬厚く栄えました。石仏の寺としても有名で、江戸時代に全国へその名を轟かせた高遠石工の名工「守屋貞治」らの作品が多数あり、貞治の神髓に触れることができます。(伊那市高遠町)

○中村家住宅



中村家住宅は江戸時代前期から中期の特徴を示す町家形式(棟割り長屋)の建物。初代高遠町長を輩出し、高遠町ゆかりの書家・画家の中村不折とも縁があります。現在、周辺の神社仏閣や高遠石工の石仏などと組み合わせ、歴史的な街並みを楽しむ観光拠点とすべく、耐震補強など整備を進めています。(伊那市高遠町)



る機会に恵まれ充実した四年間でした。「我がまちいいとこ 10 選」の視察研修は無知な私にとっては、市内の歴史を勉強でき、それぞれの地域の特色ある貴重な財産を教えていただき興味深く楽しく学ぶ事が出来ました。この役を頂いたおかげで多くの皆様そして地域の方々との出会い、ふれあいが出来たことに感謝です。今後は学んだことを宝に自分にできる事は積極的に取り組んで参りたいと考えております。委員の皆様、事務局の皆様有り難うございました。

池上和子（西春近地区）

社会教育委員になってみて、宛て職が多いことが分かり、なるほど社会は広いと実感しました。広域（県・南信・上伊那）の研修会では、事例発表を聞いたり、小グループでの茶話会で各地の具体的な活動を話し合うなかで、一様ではないことが分かりました。十人の委員がそれぞれに参加したイベントの報告、特に地元の行事については、地区の特徴があり興味深いものでした。少子高齢化の時代にあって、昨年春、中尾歌舞伎の活動中止となるや、4月29日長谷中尾座で、公演再開を願う応援イベントがありました。今年2月16日、信毎記事「中尾歌舞伎4月再開」が目飛び込み、市教育委員会も支援をしていく方針との事、4月公演にむけて頑張ってもらいたいと思います。この二年間、視野の広がる機会をいただき感謝しています。

寺田利男（高遠地区）

教育・行政畑の経験がない私が、社会教育委員に任命されたときは、社会教育とは、生涯学習とは何もわからず、早速、図書館へ行き本を探しました。そこで、公民館、図書館などを通じて、地域住民の学習を支援しており、行政においては、公共的課題と個人の充実・充足指向との間で難しい立場にあることなども知りました。そのなかで、地元出身でもない私に何が出来るか。まず行政や公民館が行う行事への参加を心掛けました。イベントなどを通して、地域の歴史や良き人生を送る心掛けなど、多くのことを学ばせて頂きました。これからも、人の話を聞

き、自らの考えを述べ、さらに仲間づくりの一助になればと考え行動したいと思います。

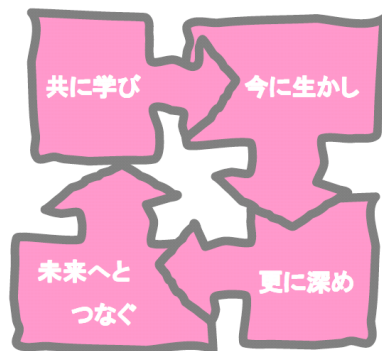
山崎恭子（高遠地区）

社会教育委員の活動や役割を理解しないままに委員となり2年が過ぎました。まずは、自身の勉強の場と捉え、会議や研修に参加しましたが、「我が町10選」による各地域にある素晴らしい事例は、どれももっと深く知りたい興味のあるものです。私の「我が町10選」は、鬼灯提灯が幻想的な、「灯籠まつり」を、歴史博物館のご協力を頂きスライド報告しました。今私が関わっている、携わっている、高遠の伝統芸能・伝統食等の小学校でのクラブ活動。なつかし館観桜期さくら茶接待・お雛まつりお茶会他をイベント報告に加えました。クラブ活動で感じた点は、どの小・中学校も先生方の目は子ども達に、やさしく・厳しく・細やかな・愛情が注がれていました。反面、子ども達は先生方に仲間意識が勝るのか、少々先生への尊敬の気持ちが足りないのではと感じました。生涯学習課のご指導、委員の方々と学習が出来た事に感謝いたします。

小松壽美（長谷地区）

年二回程出れば良いとの事で受けたが、社会教育委員がある事も知らず、何をしたら良いか不安だった。会議や研修等からなるべく多くのイベント等に参加しようと思ったが勤めているので思うようにならなかった。地区外の見学や学校等へは普段行く機会がないが楽しませてもらい感動することもあった。行事等に参加して、立派なリーダーがいれば盛り上がり長く続いている事等多くを学びました。これから地域や終活に役立て行きたいと思います。幸い良い委員、事務局の皆さんに恵まれ、何かと勉強になった二年間でした。私が休んだ時かわりに仕事をしてくれた方々には感謝します。終わりの頃になって社会教育委員とは少しわかってきたような気がします。





伊那市社会教育委員だより

編集・発行 伊那市教育委員会生涯学習課 〒396-8617 伊那市下新田 3050 番地

電話：0265-78-4111（内線 2723） F A X：0265-72-4142

Eメール：sgs@inacity.jp

お問い合わせなどはこちらへ

